

公益財団法人宇都宮市スポーツ振興財団 中期経営計画評価表（平成29年度実績）

平成30年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市元今泉5丁目6番18号		設立年月	昭和56年2月	
市所管課	教育委員会事務局 スポーツ振興課		代表者	理事長 高橋 利幸	
ホームページアドレス	http://www.utsunomiya-sponavi.or.jp				
基本財産（資本金）	10,000千円	主な出資者		出資額	出資割合
		—		—	—
	市出資額	10,000千円	—		—
市出資割合	100.0%	—		—	—
設立目的等	生涯スポーツの推進を図るため、宇都宮市におけるスポーツ振興に関する事業を行い、スポーツ活動の普及、啓発に努め、もって市民の心身の健全な発達と健康で豊かな生活の形成に寄与することを目的とする。				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツ活動の普及に関する事業 体育施設の管理運営に関する事業 その他法人の目的を達成するために必要な事業 				
公益目的事業比率 （公益法人のみ）	81.0%				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	1	うち市OB 1	正規職員等			嘱託・臨時職員等		
					再雇用職員 (フルタイム)	7	0	嘱託職員	9	0
非常勤	理事	7	1	派遣等職員	0	0	臨時職員等 (アルバイト等含む)	16	0	
	市	0	0	市以外	0	0				
	監事	2	0	市OB職員	1	1				
	計	10	2	計	52	1	計	25	0	
役員の平均年齢（歳）	60.0	役員の平均年収（千円）	—		情報公開制度の有無				0	
職員の平均年齢（歳）	50.2	職員の平均年収（千円）	6,342		個人情報保護体制の有無				0	

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	備考
資産	619,744	734,036	705,020	
負債	454,740	565,360	537,606	
（うち損失補償等額）	0	0	0	
純資産	165,004	168,675	167,414	
（うち利益剰余金）	155,004	158,675	157,414	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	備考
総収入	761,059	845,487	757,968	
（うち市補助金等）	219,745	301,615	233,988	
（うち市委託料等）	378,804	379,591	357,217	
経常損益	5,697	3,671	△ 1,261	
当期損益	5,697	3,671	△ 1,261	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
1	公益目的事業比率の維持	31年度 85%	80.0%	84.3%	76.2%	81.0%	
2	事業評価の実施及び活用	マネジメントサイクルを活用した改善	実施	→	→	→	
3	受託事業の充実	受託事業等 3事業	3事業	→	→	→	
4	スポーツ教室の充実	31年度延べ参加者数42,000人	35,014人	41,182人	40,256人	41,057人	
5	効果的・効率的な施設の管理	31年度利用者数950,000人	849,457人	967,880人	1,008,040人	1,037,351人	

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
6	スポーツ指導デリバリー事業の充実	31年度 100件	145件	129件	118件	98件	

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
7 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	継続的な見直し	決算額 246,008千円	決算額 219,745千円	決算額 301,615千円	決算額 233,988千円	
8 (共)	市からの委託料（指定管理料）の適正化	継続的な見直し	決算額 377,930千円	決算額 378,804千円	決算額 379,591千円	決算額 357,217千円	
9	保有財産の適正化	継続的な見直し	決算額 159,308千円	決算額 165,003千円	決算額 168,676千円	決算額 167,415千円	
10	自主財源の確保・充実	31年度 自主財源比率16%	15%	18.4%	16.7%	19.3%	

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
11 (共)	常勤役職員数の適正化	継続的な見直し	50人	48人	47人	44人	
12	職員の資質の向上	全職員研修の実施	実施	→	→	→	

5. その他

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
13	ウェブサイトの充実	スポーツ教室ネット申込、メールマガジンによる情報提供	計画	準備	実施	実施	

Ⅲ 総合評価

団体による 自己評価	<p>【評価】</p> <p>平成29年度のスポーツ教室においては、「自主事業実施計画書」に基づき、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に内容の充実を図りながら、35種目、延1090日を開催した。</p> <p>施設の管理運営については、整備及び保守点検を適正に行い、市民が安心して快適に施設を利用出来るよう努めた。また、定休日の開放や貸出期間を延長するなど、弾力的な管理・運営を行うとともに、市民の健康増進やスポーツの普及振興を図るため、スポーツ指導などにも積極的に取り組んだ。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・デリバリー事業等の要望増に対応できる人身体制の強化・職員の高齢化と年齢構成のアンバランス化への対応・指定管理施設の適正化の検討・保有財産の適正活用
所管課による 評価	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none">・フィットネス系のスポーツ教室では、殆どの教室において定員を上回る応募があったため、追加のコースを実施するなど、柔軟な対応による参加者増が見られ、サービス向上のための取組による成果が確認できる。・施設の管理運営においては、栃木プレックスからの要望や雨天時の3×3exeの予備会場の準備など市やプロスポーツチーム等からの要望に対し柔軟な対応を行っている。・市体育協会事務局及びスポーツ少年団並びに市民スポーツ大会への事務支援を継続して実施している。・NHK子供番組の歌のお姉さんや体操のお兄さんを招いた親子スポーツフェスティバルのほか、ジュニアダンスフェスティバルなど定員数を超える応募がある人気の高い事業を展開し、市民への利益還元に努めており、事業全般において市民スポーツ人口の拡大に向け寄与している。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・職員の退職者数や自主事業の実施状況を見据えながら、今後の組織運営体制のほか実施事業を含めた財団の将来のあり方の継続的な検討・スポーツ教室やデリバリー事業、プロスポーツチームと連携した事業などの実施体制の充実・健康寿命の延伸など、スポーツに求められる様々なニーズを踏まえた事業展開の検討